

(会議の経過) 第5回宍粟市スポーツ推進計画策定委員会

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>1. 開会</p> <p>ただいまから、第5回宍粟市スポーツ推進計画策定委員会を開会します。本日、2名の委員について欠席の連絡をいただいています。また、本委員会の会議については、原則公開とさせていただいており、本日は1名傍聴者がおられますのでよろしくお願いします。</p> <p>本日の会議についてですが、会議の円滑な進行を図るために、会議時間を1時間半で設定させていただき、午後3時にはすべての会議日程を終了したいと思っておりますので、委員の皆様のご協力をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、会議次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>会議次第2、あいさつを委員長よりお願いいたします。</p>
委員長	<p>2. あいさつ</p> <p>昨年度に引き続きまして、委員長として進めさせていただきたいと思えます。今朝、スポニックパーク一宮で水泳をしてきました。プールについては、市の制度である65歳以上の無料制度を活用させていただきました。プールでは、10時ごろになると、保育所の子どもたちがやってきます。何歳ですかと聞くと3歳と答えてくれました。今日は特別に着衣水泳で、服を着て泳いでいました。私たちのときには水着で水泳をするのが常識的で、着衣というのはなかなか普及していなかったのですが、今はこんな小さな年齢から着衣水泳をします。水着で溺れることは中々ありませんが、服を着た状態では、水泳をする人から見るとこんなに泳ぎづらいのかということがわかります。また、スポーツ計画にかかるアンケートにおいて、スポーツ施設の利用にあたって、65歳以上の市民の方、中学生以下、それから障がいのある方は無料となる制度について、70.9%の方が知らないということであり、スポーツに関してもう少し皆さんにわかっていただく必要があるのではないかとつくづく思いました。今日、プールで子どもたちを見ながら、今後10年間のスポーツの方向性を検討するにあたって、10年後、この子どもたちが中学生になったときにどのようにスポーツが展開されているかということを思うと、切実に、これは委員会としていろいろ考えなければと思いますので、委員の皆様、限られた時間となりますが活発な意見交換をよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは議事に入らせていただきます。ここからの進行につきましては、要綱第6条の規定により、委員長よりお願いいたします。</p>
委員長	<p>3. 報告事項</p> <p>(1) 策定委員会会議録(第1回～第4回)の公開について</p> <p>次第3. 報告事項(1) 策定委員会会議録の公開について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(会議録の承認及び公開について説明)</p>

委員長	<p>会議録の公開にあたってご意見を聞きたいと思います。事前に配布していますので、ご意見等がありましたらお願いします。第1回から第4回について、お気づきの点がございましたらお願いいたします。</p> <p>(意見等なし)</p> <p>よろしいですか。会議録につきましては、署名を行った後、説明でありましたように個人名は出さないということで公開させていただきます。よろしければ拍手をお願いいたします。</p> <p>(委員拍手)</p> <p>それでは、事務局において公開を進めていただくようお願いします。</p>
委員長	<p>(2) 就学前児童保護者・小学生・中学生アンケートの分析結果について</p> <p>次に就学前児童保護者・小学生・中学生アンケートの分析結果について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局 コンサル 委員長	<p>(報告書のまとめについて説明)</p> <p>(分析結果について説明)</p> <p>説明が終わりました。アンケートの結果について、ご意見等ございましたらお願いいたします。今回の報告で、16歳以上の市民アンケートとあわせ、市のスポーツに関わる現状や課題が、一定明らかになったのではないかと思います。その結果を、今後の計画等に具体的に反映できればと思っております。</p>
委員	<p>報告書18ページの中学生の問9について、たくさんの教室があったらいいですかという部分で、あってもいけないというのが半分近くとなっています。これは現実として部活動をやっている子どもたちがほとんどで、その前提で考えて、少し差し引いたほうがよいのではないかと思います。数字的にはかなり高いのですが、ほとんど部活動に所属している、あるいは道場も含め自分でクラブに所属している子どもたちが8割以上超えている状況の中で、他の種目もあつたらどうですかといわれても、多分子どもたちもその枠組みで判断しているので、そのあたりは数字をうのみになくてもよいのではないかと思います。</p>
コンサル	<p>この調査の中で、部活動をやっているかどうかという設問がございますので、部活動をやっている人とそうでない人という部分をクロス集計かけたときに、実際にどうなのかという部分で、再度分析をさせていただきたいと思います。</p>
委員	<p>学校の先生方の働き方改革で、休日の学校部活動を地域へ移行していこうという動きがある中で、このアンケートのスポーツ教室のところは、ある程度リンクした話なのですか。</p>
事務局 委員長	<p>このアンケートではリンクしていません。</p> <p>中学校部活動の地域移行については、今後の動向も鑑みていきたいと思えます。</p>
委員長	<p>4. 協議事項</p> <p>(1) 基本理念について</p> <p>次第4. 協議事項に入りたいと思います。基本理念、基本目標になります。最初に事務局より説明をよろしくお願いします。</p>
事務局	<p>(基本理念について資料により説明)</p>

<p>委員</p>	<p>事前に事務局から相談を受け、資料1ページのような体系図、今これは何も中身は入っていないのですが、このような枠組みで、これ自体はスポーツに限らず、様々な計画を策定する場合には、概ねこのような形であり、基本目標が3つでなければならないわけではないのですが、今回案として3つ示されています。資料2ページを見ていただきたいのですが、これまで4回グループワークを行う中で、課題を洗い出し、基本的には宍粟市が抱えている悩ましい部分、あるいは今後どうしたらよいかといったものは、資料2、3ページのところにまとめていただいています。ここからですが、先ほどいった計画の本文として、文章化していくにあたっては、会議で一人ひとりが中々発言することは難しいので、事務局において、特に理念と目標という部分は、皆さんが頭にイメージされていることを踏まえながら、いくつかの方向性の案を出して、そして、それをみんなで揉んでいくような形の方が生産的ではないかという話はいたしました。ただ、いくつかの市町に関わっている中で、そこがあっさり終わってしまうとよくないので、提示されたものについては今まで議論してきたこととちょっと違うんじゃないかということについては、忌憚のないご意見をいただきながら、たたき台みたいなものについて意見交換をしてはどうかという話をさせていただいたところです。</p>
<p>委員長</p>	<p>特に基本理念については、今後、宍粟市のスポーツがめざす大きな目標にもなるので、皆さんの思いを聞かせていただき、協議をしていきたいと思えます。理念としては、案が3つあり、ご意見がありましたらお願いします。前々回のときに、近隣市町の理念、目標について参考資料として提示いただきました。そのときに、金太郎あめにならないようにと発言させていただきました。できるだけ市の特色を出さなければいけません。他市町においてスポーツとはといったら、「みる」「する」「ささえる」この3点で全部押さえてあります。理念もその3点から出発して、目標もその3点から出ています。宍粟市では、そうではなく、実際「する」スポーツのことについていっているのだけれど、地域の特徴を生かしてこのような形にするというものを出そうじゃないかということと、「みる」スポーツについては、みるということはこのような観点で出そうじゃないか、「ささえる」スポーツというのはこのような形で宍粟市としてはささえるという言葉は使わないけれど、理念や目標の中に組み込んでいったらということを出発させていただいた経緯があります。そういった観点からも、皆さんのご意見等をお聞きしたいと思います。即、理念にこれというように直結するわけにはいかないと思いますが、それについてこんなのはどうかということでも結構です。理念を深めるために、ご意見等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>事務局との打合せの際にも、委員の皆さんから意見を出しづらいのではないかと、場合によっては多数決でどれが一番よいかということもあり得るのではという話がありました。今日、どれに決定するかということよりも、キーワードが「健幸」というように、幸いの「幸」を盛り込んだほうがよいとか、このフレーズは置いておいたほうが、それはメインかサブかは別として、先ほど委員長からあった観点も含めて、ここだけは外さないほうがよいといったことだけ確認すればよいかと思えます。最終的には、国語的な好みもあるので、また個別にということでもよいかと思えます。絶対に落としてはいけないキーワードの確認はしたいと思います。また、総合計画が資料5ページにあるのですが、宍粟市は「夢のまち」という体言止めで終わっているのですが、そこは市によって</p>

委員	<p>様々だと思うのですが、「まち」や「宍粟」で終わるほうがきれいなのではないかと個人的には思います。</p> <p>委員長からあったように、「する」「みる」「ささえる」からスタートすると、同じものになってしまうということで、今、宍粟市でうまくいっていることは既にいくつか出てきています。例えば、中年の人はバレーボールが盛んで、みんながいきいきと参加しています。高齢者は、いろいろなシステムをつくっていった積極的に参加していて、みんなで何かをつくり上げているという感じですか。「いきいき」、「積極的に取り組み」、「健康をめざす」というのは、自分たちのまちに相応しいという気がしました。また、うまくいっていないところでは、子どもの数が減っているという中で、どのように運動に目を向けるか、体力づくりや精神的なバックアップをどのようにつくり上げていけばよいかということ踏まえたものにしたらよいのではと思いました。</p>
委員	<p>理念が案1、2、3とあり、2と3は健康長寿ということで高齢者中心のイメージがあります。できたら案1に「豊かな自然」など、他の市町よりも氷ノ山をはじめとする50名山など自然に恵まれており、理念に自然を入れたほうがよいのではないかと思います。</p>
委員長	<p>宍粟市の特色として、やはり自然を切り離すことはできないですし、市の将来像についてもたくさんその部分に触れられています。</p>
委員	<p>どこにもあるような計画というよりは、宍粟市の特色を考えていきたいと思えます。例えば、どこどこで生活しているAさんがスポーツと出会う、スポーツを通して幸せになっていく、また、人とつながっていくといった設定、宍粟市の中でも私のように北部の田んぼばかりの静かなところで生活している人と、まちの中心でいろいろなお店があつたりするところで生活している人をどのように出会わせていくのか、スポーツと出会うのか、そういうことを例えばどこで、どんな人が生活しているのか、宍粟市は広いので、そのような具体的な人みたいなものをイメージしながら、どんなことが考えられるのか、全般にこんなことを皆さんしましょうというよりは、その人が一歩みんなの中に入ったり、健幸づくりに向けて何かできるとか、そのような歩み出し方が入ってきたほうがよいと思えます。案1、2、3も生きているという言葉として表現されていると思えますが、それがもう少し具体的なイメージが浮かぶようなかたちになればよいと思えます。「健幸長寿へ」というのが、スポーツ推進委員会で掲げているテーマなのですが、この「へ」があることによって、高齢者だけでなく、子どもの世代からずっと健幸長寿だという、長い将来を含めて、この「へ」に込めた思いがあります。「健幸長寿」だけだと高齢者が浮かぶのですが、すべての世代に対して「へ」に込めたものもあります。</p>
委員	<p>案の中にキーワードがたくさんあります。例えば、「健幸の」であつたり、「生涯スポーツの」というところを整理して考えたらよいのではないかと思います。体言止めの方が、市の将来像と合ってよいイメージになるのではないかと思います。というお話と、スローガンの部分があるといった意見があつたと思えます。例えば、案1で最後のところを「まちづくり」で終わるのではなく、「健幸のまち」で終わるようにして、その前段の部分を考えてはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>なかなか決定打は出ないので、今みなさんが発言されたことを含めてこの会議後に自分なりの案を事務局に出して、事務局でそれをまとめて、次回提案して</p>

	<p>いただいてもよいかと思えます。みなさんが言われた内容は重要なキーワード、考え方であると思うのでそれを今日確定する必要は特段ないのではと思えます。</p>
事務局	<p>この後、スケジュールの話をさせていただこうかと思ったのですが、可能であれば、この議論の中でこの言葉を採用する、体言止めをする、そうすれば導き出すスローガンはこうするといったように、本日決めていただけるとスケジュールに乗れるというところです。確かに、短い時間の議論で決めていただくのは本当に難しいと思えます。例えば、「健幸」という言葉ひとつでも、普通の「健康」という言葉を使いましょう、もしくは幸せの「健幸」を使いましょうなど、そういったところも含めて可能な限りご議論をいただければと思えます。</p>
委員	<p>委員のみなさんも、今の議論の中で最終的には事務局で判断いただいてよいという感じで私は受け取っています。事務局としても、今の意見を総合して、もう一回これでよいですかという案を出されたほうがスムーズに決まるのではと思えます。</p>
委員長	<p>3つの案について、それぞれ意見があり、体言止めにして言葉を揃えるということで合意したとなると、極端に言えばこの3つの中で主になるサブテーマをくっつけたらこれでよいというようになるように思えます。</p>
事務局	<p>先ほど委員からありました、例えば案1の中で、上の部分で「健幸のまち」とすると、案1の「スポーツを通じた元気で生きがいあふれる」という部分が健幸という言葉の説明しているような文章なので、可能であればこのキーワードを使ったほうがよいといった、例えば「スポーツを通じた」は入れる、「健幸」は入れる、最後は体言止めで「まち」というかたちで止めるなど検討いただけたらと思えます。</p>
委員	<p>SDGsがテーマになっていると思えますが、「持続可能な」や「いつまでも」という言葉が入ったほうがよいと思えます。</p>
委員長	<p>10年間を想定したということで目標を立てますのでSDGsはあえて入れたほうがよいのか、もうそうになっているからこの理念がしっかりしていたらいいのではないかという、それぞれ両方の意見があるかと思えます。</p>
委員	<p>案2は、先ほども高齢者のイメージがあるといった意見や、「へ」が入っている意味についての意見もありましたが、個人的にはやはり高齢者のイメージがあります。また、サブテーマのところも、どちらかという「ひとづくり」、「まちづくり」が全面に出てきているのではないかという気がします。案3は健康スポーツが大きなイメージとして伝わってくるので、例えばですが、1案のところは「スポーツを通し」、「元気で生きがいあふれる健幸なまち」、そして先ほどおっしゃったSDGsやその中で補完できていない部分をサブテーマの中に入れていってはどうかと思えます。</p>
委員長	<p>事務局にまとめていただきまして、次回、こうですよ説明いただければ概ね理解できると思えます。よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>私たちは意見を出しましたので、後は事務局のほうで考えていただければと思えます。</p>
事務局	<p>委員から先にいただいた自然に関する意見については、このあと説明させていただく基本目標の中で示させていただいていますので、その中で再度ご確認いただけたらと思えます。</p>

委員長	委員意見をふまえ、事務局において再度理念を見直していただければと思います。
事務局	貴重なご意見をいただいておりますので、キーワードも含めて事務局で整理し、あらためて提案させていただきますのでよろしくお願ひします。
委員	具体的には、理念はコンパクトでよいのですが、その前段に委員の皆さんがいわれたご意見を文章化して盛り込めばよいと思います。説明文として、委員の皆さんがいわれたこと、このスローガンはこのような思いが込められているということを入れると理解しやすいのではと考えます。
委員長	<p>(2) 基本目標について</p> <p>次の協議事項に入ります。(2) 基本目標について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(基本目標について資料により説明)
委員	基本目標3「スポーツをする空間・場所の確保と充実」について、障がいの分野からの意見として発言させていただきます。毎年総会の開催で学校体育館を借りるのですが、体育館にラインが引いてある場合、車いすや杖はゴムがついているので最初は傷がつかないのですが、経年劣化で金属が出たような状態になり床に傷がついてしまったりします。このような状況もふまえ、障がいのある人たちが気楽に使える施設があればよいと思います。
委員	基本目標2のスポーツを「ささえる」人材の育成というところについて、宍粟市はまだできていないと思います。学校部活動、スキー、山歩きのリーダーなどリーダーとなる人材育成が進んでいないと思います。私は卓球をしていますが、卓球を教えてくれる人を探しますが、ずいぶん探して1人か2人です。たつの市では小学生の卓球クラブもありますし、他にも大会などたくさんあります。なぜ宍粟市にはこういったクラブや大会などが無いのだろうと思います。スポーツを「ささえる」環境づくりに本腰を入れていかないと基本理念には程遠いと感じるところです。
委員長	<p>体育協会の取組として特別支援事業というものがあり、たとえば卓球であればこのような講師を呼びたいということで申し出ていただき、講師料は発生しますがそういった派遣制度があります。おそらくこういった制度が浸透していないのではないかと思います。</p> <p>私のほうからひとつだけ意見として、近隣市町のスポーツ計画では「eスポーツ」が入っていません。一般の人に聞くと、eスポーツはゲームじゃないかといわれます。体を鍛えるわけではないのですが、実際は人口比率をみるとテニスと同じくらいで、世界で1億人がプレーしています。野球は3,500万人、サッカーでも6,700万人くらいです。上からいうとeスポーツというのはベスト3に入るくらい世界的なもので、将来的にはオリンピックの種目になるかもしれません。スポーツというのは汗を流してやるものというイメージをもっています。でも、これから10年先を見たときに、目標の中にeスポーツのことも含めていくことの検討も必要であると思います。しかしながら、これには環境が必要です。パソコンもいるし、市のほうで施設をつくらなければなりません。ただ、高齢者で体が動かない、どこにもいけない人がいて、これからの宍粟市を考えたときには、eスポーツが一番しやすいスポーツです。座ってできますし仲間もできます。瞬発力ができますし、それから頭も使うので認知症防止に</p>

委員	<p>もなります。そういった意味では、計画の中で考えていく必要があるのではないかと思います。</p> <p>基本目標が1、2、3とあり、これからもっと計画が具体的になればわかるのかもしれませんが、1と2と3のクロスがイメージできているのかということがあります。例えば、基本目標1に幼児のスポーツとあり、生涯スポーツだからそのように並ぶのだらうとは思いますが、幼児のスポーツのところと基本目標2のスポーツ関係団体との連携・協働、あるいはスポーツを「ささえる」人材の育成といったこととどのようにクロスしているのか、あるいはスポーツに関心・興味もてる情報提供とありますが、例えば幼児にはここの部分、青少年にはここの部分というのではなく、幼児も青少年も2も3クロスしないといけないわけです。全部がつながっていなければ、本当には動いていきません。あんなこともやっています、こんなものもやっていますというのはこのままでいけると思いますが、実はそこにいる一人ひとりの、子どもであれば子どもからいうと、基本目標2の部分も基本目標3の部分もつながりがある、そういうことを意識した総合的な組み立て方というのは必要だと思います。言葉で書いてあるのはこうだと思うのですが、もう少しそういった面でのつながり、関わりみたいなものが見えていけばよいと思います。</p>
委員	<p>以前も発言させていただきましたが、小学校や中学校の子どもたちの体が硬い問題、それはきっと就学前から硬くずっと硬い状態で、大人になっても硬いというのが続いていると思います。そこに対して何かのアプローチを市としてするというので、基本目標1の世代ごとのところについては、すべて横につながるという意味でもSDGsと関係があるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>全体の目標それぞれが独立するのではなく、つながりをもたせるということで検討を進めさせていただきたいと思います。基本目標の基本的な考え方についてはこれでよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>(了承)</p>
委員長 事務局	<p>5. その他 今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。 (スケジュールについて資料により説明)</p>
委員長 事務局	<p>6. 次回開催日程について 次回開催日程について、事務局より説明をお願いします。 基本理念の確認については、少し手法を考えさせていただきます。次回の開催日程については7月28日(木)午後1時30分からを提案させていただきます。</p>
委員長	<p>事務局提案の日程で進めていただくようお願いします。 以上で本日の議題は終了しましたので、進行を事務局へお返しします。</p>
事務局	<p>7. 閉会 本日は、慎重審議いただきありがとうございました。本日いただいた意見をふまえ計画の策定作業を進めさせていただきます。次回の委員会では、もう少し具体的な内容をお示しできればと思っております。引き続き、その部分についてさらにみなさんからご意見をいただきたいと思っております。</p>

副委員長	<p>それでは、第5回宍粟市スポーツ推進計画策定委員会の閉会にあたりまして、副委員長からごあいさつをお願いいたします。</p> <p>スポーツ推進計画策定委員会も後半に入り、本日で第5回目となります。課題は残っていますが、基本理念、基本目標は少し見えてきているのではないかと思います。委員のみなさん長時間ありがとうございました。</p> <p>午後3時閉会</p>
------	--

* 発言者の表記は、「委員長」、「副委員長」、「委員」、「事務局」、「コンサル」とする。